



- ☆生き生きとした内川の子ども
- ・進んで学び、よく考える子ども
- ・思いやりのある、やさしい子ども
- ・元気で、たくましい子ども

1月の全校集会：「いのちを いただく」

食べ物が満ちあふれている時代に、食べ物のありがたみを伝えることは難しい。食べ物を粗末にしてはならないと、教えることは難しい。

その食べ物が、既に粗末にされている。日本の1年間の食品廃棄量は2000万トン以上。1人1日1800Kcalで生活している発展途上国での3300万人の年間食料に相当する。そんな時代に、どのようにして食べ物のありがたみを伝えるか。

「命」でしかないのだと思う。

私たちは食べ物を食べて生きている。生きることは食べること。すべての食べ物は命だ。肉も魚も野菜も米も、すべてが種を残そうとする生命体だ。

人が生きるということは、命をいただくこと。殺すこと。

私たちの命は、多くの命に支えられている。それを実感したときに、食べ物のありがたみがわかる。食べ物を粗末にしてはならないとわかる。



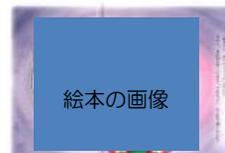
1月20日（月）、1月の全校集会は、全国学校給食週間に合わせて、「いのちを いただく」という絵本を読みました。食肉加工センターで働く坂本さんが出会った牛のみいちゃんとひとりの女の子の感動実話です。この絵本「いのちを いただく」<西日本新聞社>は、昨年10月に愛知県の「ポピー名城グループ」の方から寄贈されたものです。

○「絵本 いのちを いただく（みいちゃんがお肉になる日）」<講談社>も出ています。



平成25年度 全校集会【1月】の感想

「いのちを いただく」



わたし たちは生まれ、いまここに生きています。それ自体すごいことです。しかし、それはたくさん 命をいただいているということです。いろいろな 命を奪っているということです。私 たちは、奪われた 命の意味も 考えずに、毎日、肉を食べています。自分で 直接手を汚すこともなく、坂本さんのような方々の 悲しみも 苦しきも 知らず、肉を食べています。「いただきます」も「ごちそうさま」も言わずにご飯を食べることは、私 たちには許されないことです。感謝しないで食べるなんて許されないことです。食べ残すなんてもってのほかです。

おじいちゃん言葉です。

「みいちゃんのおかげで、みんなが喜らせるとぞ。食べてやれ。みいちゃんに、ありがとう、と 言うて食べてやらな、みいちゃんが、かわいそかろ？食べてやんなっせ。」

私 たちの 命は、多くの 命に支えられていることを感じて欲しいと思い、「いのちを いただく」の絵本を読みました。

1年

女の子がそだててきたうしのみいちゃんがおにくになっちゃうから、かなしいとおもいました。ぼくは、きゅうしょくをときどきのこしちゃうけど、のこさないようにしたいです。女の子のおじいちゃんがみいちゃんのおにくをもってきて、女の子はなきながらたべたことがこころのこりました。

わたしがはじめてわかったことは、うしがなくことです。なかよしだった女の子とおわかれするのが、かなしかったのかなとおもいました。わたしはたまに、きゅうしょくをのこすので、これからは、ぜんぶたべられるようになりたいです。

さかもとさんは、女の子がそだてたみいちゃんをしなせなくなかったから、つぎの日、しごとをやすもうとしたんだとおもいました。

わたしは、これから、きゅうしょくをのこさないでたべたいです。

2年

ぼくは、肉、魚、やさい、くだもの、米のいのちをもらっているけれど、のこすことがあるので、これからは、のこさないで食べたいです。

わたしは、牛のお肉を食べているけど、牛のことを考えたことがなかったです。わたしが牛をかっていたら、女の子みたいになって食べていると思います。わたしたちが、どうぶつのお肉をもらっていることをかんしゃして食べたいです。きゅう食ものこさないで食べたいです。

3年

ぼくは、毎日ごはんを食べる前に「いただきます」の言葉をちゃんと言います。たくさんの命にありがとうの気持ちもちたい。

ぼくは、命を毎日もらっていることが分かりました。今度からは、苦手な物が出てものこさないようにしたいです。みいちゃんがかわいそうだと思います。ぼくは、「いただきます」「ごちそうさまでした」をわすれずに言いたいです。ぼくは、多くの命にささえられていることが分かりました。

ぼくは、「いただきます」と「ごちそうさまでした」の2つを毎日わすれずに言いたいです。食べる時に「いのちをいただいているんだな」をわすれずに食べたいです。

4年

ぼくは、いのちをいただくことは毎日やっていることだけど、でも、よく「いただきます」をわすれるときがあるので、今度からはわすれないようにしたいです。

肉や魚、野菜は全部他の人のおかげで、ぼくたちは残さず食べようとしているのだけど、残してしまいます。

校長先生から教えてもらったことをわすれずに、いつも「いただきます」や「ごちそうさま」を言いたいです。

ぼくが、この話を聞いて思ったことは、毎日、ごはんを食べる時に「いただきます」を感しやの気持ちで言うことです。色々な生き物に命をいただいて食べていることを忘れないで、毎日「いただきます」を言いたいです。そして、食べ物を残さないで食べたいです。

5・6年生のは次号で紹介します。



矢祭町教育ポータルサイト6号

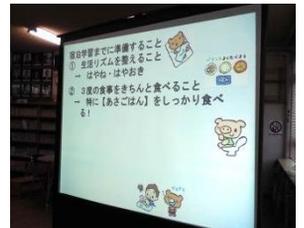


開設されて1年が過ぎました。1月23日現在で、アクセス数が3万7千件を越えました。多くの方々に見ただけに感謝しております。最近の様子です。宿泊学習事前指導、手のひらの会による読み語りの子どもの様子です。

●2014/01/22 「宿泊体験学習」事前指導！

| by:内川小校長

1月22日(水)5校時、図書館において、来週実施される「宿泊体験学習」の事前指導を行いました。今年は、会津自然の家に宿泊してのスキー活動が中心になります。矢祭町では体験できない、冬の雪山での活動を体験することが目的で、生まれて初めてスキーを体験する児童もいるのではないのでしょうか。保護者の皆様には、防寒対策のための衣服の準備等をよろしく願っています。



●2014/01/22 「手のひらの会」による読み語り！

| by:内川小校長

1月22日(水)、8時15分からは朝の読み読みの時間です。今年初めて「手のひらの会」の方に来ていただきました。今年もよろしく願っています。今日は2名の方でしたので、低学年と中・高学年に分かれてお話を聴きました。※ インフルエンザ：出席停止1名(6年)、風邪気味の児童は1~4年生に多いようです。ご家庭でも、石鹸手洗いとうがいの徹底をお願いいたします。今、インフルエンザに感染してしまうと、宿泊学習には参加できなくなります。「早寝・早起き・朝ご飯」。体調を崩した時には早めの受診をお願いいたします。児童・教職員26名で参加できることを願っています。

【ふしぎなでまえ ないたあかおに】

